赤潮・貧酸素情報 (2)

平成30年7月12日

各漁業協同組合長 殿

福岡県水産海洋技術センター豊前海研究所長

7月11日に調査を行った結果、豊前海の沿岸域一帯で大雨の出水による濁りの他、<u>ケイ藻(主にキートセロス属)</u>の増殖による海水の変色が確認されました。

<プランクトンの状況>

- ○豊前海全域の沿岸域でケイ藻 (主にキートセロス属)の赤 潮により、海水の変色が認められています (最高は稲童地先の5m層で1mlあたり8,100細胞)
- 〇ケイ藻類の赤潮はアサリなどの餌となり、<u>基本的に無害とされていますが、夜間には酸素を消費するため、念のため漁港内においては活け間等での魚介類の窒息に注意をお願いします</u>。

<貧酸素の状況>

〇現在、貧酸素(酸素濃度 30%以下)は発生していません。

<今後の状況>

- 〇今後、天候次第では、この赤潮がさらに増殖する可能性があり、また、貧酸素の発生につながる恐れがあります。
- 〇 研 究 所 で は 引 き 続 き 調 査 を 実 施 し ま す の で 、 今 後 の 情 報 に 十 分 ご 注 意 下 さ い 。

漁業被害、海水の変色などがみられましたら、豊前海研究所(0979-82-2151、担当:恵崎、俵積田)までご連絡下さい。

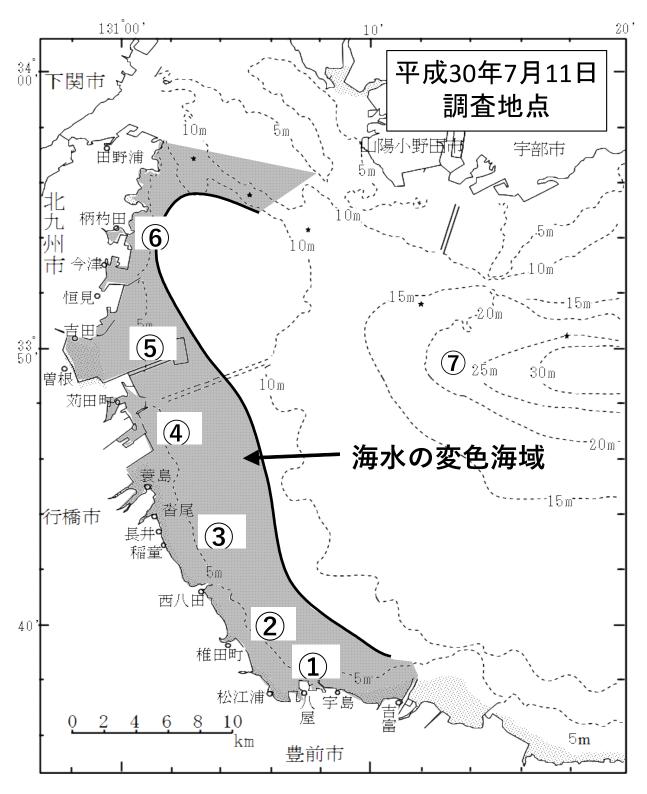


図 赤潮発生海域図

表 赤潮プランクトン細胞数・酸素濃度

採水場所		採水層(m)	珪藻(キートセロス) (細胞数/海水 1ml)	酸素 飽和度 (%)
1	宇島地先	0	5,390	144
		5	6,580	105
		B−1	5,600	100
2	椎田地先	0	5,360	148
		5	4,240	113
		B-1	1,570	111
3	稲童地先	0	5,490	146
		5	8,110	122
		B-1	5,510	111
4	苅田地先	0	3,400	140
		5	4,910	119
		B−1	2,120	114
5	人工島西	0	6,810	140
		5	4,760	110
		B-1	2,940	109
6	柄杓田地先	0	1,060	117
		5	1,190	121
		B-1	1,350	120
7	シーバース	0	1,870	118
		5	1,370	117
		B-1	1,570	78